プリンセス 小公女セーラ

第28話

『夏休みの大騒動』

AR台本

企画 制作 日本アニメーション株式会社

プリンセス
小公女セーラ

第二十八話　『夏休みの大騒動』

登場人物

セーラ……………島本須美
ミンチン……………中西妙子
アメリア……………梨羽由記子
アーメンガード……………八百板万紀
ベッキー……………鈴木三枝
ロッティ……………渡辺菜生子
ピーター……………坂本千夏
ラビニア……………山田栄子
ジェシー……………飯塚はるみ
ガートルード……………佐々木るん

ジェームス……………郷里大輔
モーリー……………向殿あさみ
クリステル…………
ジェイン……………
スーザン……………
ダイアナ……………
ペネラビ……………
リンダ………………

カメラ	画面		音声
1	クリステル、帽子をとり上げてためつすかめつしている		
2	カバンに荷物をつめているリンダ ダイアナ、うろちょろしている		ダイアナ「あ…待ち遠しいわ……早くこないかしら」
3	クリステル、振り返る		クリステル「慌てない、慌てない、もう、すぐよ」
4			ダイアナ「あら、自分だって慌ててるクセに、帽子のかぶり方、反対よ」
5	クリステル、とって見　かぶり直し		クリステル「あら、いけない。あ〜早くこないかしら…」
6	ジェーンの部屋 ジェーン、歩き廻り乍ら ペネラピ、胸をおさえ		ジェーン「もう、そろそろ来てもいい時間よね」 ペネラピ「あ〜、私、うれしくて胸が一杯…！」
7	ロッティ達・部屋		

	スーザン、荷物を振り廻し乍ら 手前に ロッティ、部屋を出て行く 追うジェイン		スーザン「あ〜私、今日の来る日をどんなに待ってたか」 ロッティ「私、待ちきれないわ、一寸様子見てくる」 ジェイン「あ、待って私も……」
9	二階・廊下 出て来るジェーン、ペネラビも手前へ		
10	歩き乍ら		ジェーン「……スーザン、ロッティ、もう仕度出来たの？」 スーザン「もう、とっくによ」
11	出窓の方へ急ぐ リンダ、クリステル達もinし、 奥へ		
12	出窓に集うクリステル達		
13	下をのぞく		

14	道には人が行くのみ 窓に一同が見える		
15			ロッティ「あら、まだだわ」 ペネラピ「何してるのかしら…」
17	上がって来るアメリア		アメリア「皆さあん！　お父様やお母様は、間もなくお迎えに見えますよう！　早くお支度をすませるんですよう！」
18	一同、アメリア見て		女生徒達「はあい。もう、とっくにすませてまーす！　etc」
19	アメリア、頷き		アメリア「では、呼ぶ迄自分達の部屋で待っていなさい」 生徒達「はーい」
20	台所 大鍋をかかえて、ジェームス入って来る		
21	洗場の水漕に水を入れている モーリー　ジェームス、近づき		

	洗い場に入れる モーリー、手前へよける	
22	ジェームス、汗をぬぐい 洗い乍ら	ジェームス「ふうっ、終った、終った…… これで当分、厄介なお嬢様方のメシ作 りともおさらばって訳だ」
23	モーリー、汗を拭い乍ら	モーリー「全くだねえ、これであたし達も夏休 みが楽しめるよ」
24	セーラ、ベッキー、食器を下げ て来る	
25	セーラ、ベッキー、洗い場へ	
26	セーラ達、皿を洗い場に ジェームス、鍋を洗い乍ら	ジェームス「とは云ってもお前達二人にゃ夏休 みなんて、酒落れたもんはねぇから、 そのつもりでいなよ」 セーラ「はい」
27	モーリー	モーリー「ちょっと、生徒さん達の靴は磨いて あるんだろうね」

28	ジェームス、鍋を持ってFr・out		セーラ「はい、今朝早く起きて、ベッキーと一緒に」 ベッキー「これから、お部屋に届ける所です」
29	モーリー、向き直り		モーリー「グズグズしてるんじゃないよ。今日は、生徒さん達の親御さん達が見えるんで、 off 院長先生はピリピリしてらっしゃるんだからね」
30	セーラ・ベッキー		セーラ「はい……」
31	地下・作業場 磨かれた靴　PANすると、入って来るセーラ、ベッキー		
32	二人、靴の方へ		
33	セーラ、両手に一足づつ持つが、いったん下ろしヒモを結び、下げられるようにする		
34	不思議そうに見つめるベッキー		

35	セーラ、腕にヒモをかけ、靴をぶら下げる　同じように別の腕にも　最後に、両手で一足づつ持つ		
36	ベッキー、感心 と、自分も靴ヒモを結び始める セーラ、奥へ		ベッキー「まあ、お嬢様ったら……さすが……」
37	アーメンガードの部屋 ラビニア、歩き乍ら FOLLOW→		ラビニア「馬鹿ねえ！　私、アメリカなんかに帰りはしないわ」
38	ラビニア、立ち止り ガートルード達に自慢話		ラビニア「だって、折角の夏休みに、何十日も船で往復するなんて、無駄なだけよ！」
39			ガートルード「へえぇ、だけどラビニア、おうちに帰らないで夏休み、一体どこで過す気？」
40	ラビニア 見上げ		ラビニア「フフフ、私ね、お母様が迎えに来たら、一緒にヨーロッパ旅行する事になってるの」

41	ジェシー、びっくり		ジェシー「えええッ、ヨーロッパ旅行？」
42	ラビニア　見		ラビニア「そうよ…スイスからウィーン、それからライン河も下るつもりだわ」
43	ジェシー、ガートルード、感心		ジェシー「すッごォーい！」 ガートルード「さすがお金持ィ！」
44	顔をあげラビニア、満足気に笑 ！となる		ラビニア「フ…………」
45	ドアの所 靴を持ったセーラ　手前へ		
46	セーラ、立ち止まる		ラビニア「まあ、あなた、私達の話、立ち聞きしてたの?!」
47	セーラ、首をふり		セーラ　「靴を届けに来ました」
47	ラビニア、鼻先きで笑い 手前へ		ラビニア「フン……遅かったじゃないの」
48	近づき　自分の靴をとり		

49	フッと息を吹く と戻る	ラビニア「まぁまぁの磨き方ね。勘弁しとくわ」
50	入れかわって、ガートルードと ジェシー、靴を受けとる	
51	ジェシー、ガートルード、靴に 息を吹きかけ と戻る	ジェシー「まぁまぁね」 ガートルード「勘弁しとくよ」
52	立ち止まり、どっと笑う三人	三　人「ハ、ハ………」
53	セーラ アーメンガード、近づき 受けとり	セーラ「…………」 アーメンガード「有難う、セーラ」
54	ラビニア、靴をはき乍ら	ラビニア「所でセーラ、夏休みはどこへ帰るの?」
55	セーラ、アーメンガード	セーラ「えっ……帰るって…私が…?」
56	ラビニア、オーバーに気付いて	ラビニア「あ〜ァ、そおだったわねぇ、あなた

	みせ		には、帰る処も迎えに来る両親もいないんだったわねぇ、忘れてたわ、失礼！」
57	立ち上がり、顔を見合わせ どっと笑う三人		三　人「ハ、ハ…………ホ…………」
58	セーラ		セーラ「…………」
59	笑う三人をＰＡＮ		三　人「ハ…………」
60	セーラ 引き返そうと奥へ セーラ、振り返る		セーラ「云う事がそれだけなら戻るわ」 ラビニア「待ちなさいよ！」
61	ラビニア、inし ラビニア、セーラの前を通る 見送って　続く		ラビニア「あんたには、やってもらう仕事があるわ、来て！」
63	顔を見合わせるジェシー・ガートルード		
64	不安気なアーメンガード		
65	ラビニアの部屋		

No.			
	二つのカバン ラビニアの足入って来て止まる		
66	カバンの前に来て止まるセーラ ラビニア、カバンを指して カバンから、ラビニアを見る セーラ　ニヤりとして、高慢ちきるポーズをとり ラビニアを見つめていたが、 セーラ、無言でカバン把手をとる ラビニア、後に回り、皮肉な笑いをしてセーラを見て　out する　両方のカバンの把手をとり 持ち上げようとするセーラ 持ち上げからなめ		ラビニア「……下に運んで頂載……！」 ラビニア「…メイドの役目でしょ…運ぶのよ！」
67	机の上の帽子をとり、工合直して　冠るラビニア 振り返り、ニヤりとして		ラビニア「あーら…なにしてるの！！」
68	力を入れ持ち上げる わずかに上がる　ちらりとラビ		

	ニアを見る		
69	ラビニア、冷笑を浮かべるラビ ニア　扉の方へ		ラビニア「フフ……急いで！」
70	ラビニア、出て行く 見送るセーラ、持ち上げて扉の 方へ		
71	重そうに運ぶセーラ　　SL		
72	三階・廊下 出て来るラビニア あとから必死に左右にカバンを 下げて出て来るセーラ		
73	セーラ、奥へ ラビニア、階段を下りていく		
74	二階・廊下（ホール） 踊り場で振り向き 出て来るジェシー達		ラビニア「何ぐずぐずしてるの！　早く」

75	集る女生徒達	
76	踊り場 ラビニア見上げている	
77	一歩一歩、やっと下りてくる セーラ	
78	ラビニア	ラビニア「早くして！」
79	セーラ、やっと下りる	
80	ラビニア、下へ セーラ、下りてくる	
81	よろめくセーラ	
82	驚くアーメンガード ロッティ	アーメンガード「セーラ！」 ロッティ「セーラママ！」
83	セーラ、起き上がり、カバンを 持ちあげようとする	

84	女生徒達の中から飛び出すベッキー		ベッキー「お嬢様！」
85	階段を踊り場へ駈け上がる		
86	ベッキー、急いでカバンの一つをとる		ベッキー「私が、私がお持ちします！」 セーラ「あ、有難う、ベッキー」
87	ラビニア ジェシー達の　前へ続く配下の二人		ラビニア「行くわよ！」
88	顔を見合わせ、カバンをもって下り出す二人		
89	学院の前 停る馬車		
90	馬車の扉あき、婦がおりて、そそくさと玄関に向かう		
91	一階・廊下 入ってくる親達　PAN←		

	ごった返している		
92	ラビニアの母親に愛想をふりまくミンチン		ミンチン「朝早くからお疲れでございましたでしょう……夏休みはお嬢様と、ヨーロッパ旅行だとかで……」
93	アメリア、迎えの父親に挨拶し、 Fr・out		
94	PAN→ 抱き合う母とジェイン		
95	抱き合うペネラビと父		
96	アーメンガードと、むっつりした父親		
97	女生達と親達 セーラとベッキー、立って見ている		
98	見守るセーラ 振り向く		ベッキー「お嬢様……」 セーラ「えッ」

	二人、奥		ベッキー「もう用事はございませんでしょう。下へ戻りましょう」 セーラ「え、ええ……」
99	入って来る二人――		
100	ベッキー、立ち止まり振り向く		ベッキー「ごめんなさい、お嬢様……」
101	セーラ、けげんな顔をあげ、見る		セーラ「…………」
102	セーラナナメベッキー		ベッキー「ここに戻ろっなんて…私、お嬢様に命令みたいなこと云ってしまいまして……」
103	じっと見つめるセーラ		セーラ「…………」
104	ベッキー		ベッキー「でも、私、たまらなかったんです。お嬢様にあんな場面をお見せしてる事が……」
105	セーラ		セーラ「ベッキー」

106	ベッキー	ベッキー「どの生徒さんにだって、みなさん、お父様やお母様がお迎えに見えてます……」
107	ベッキーナメセーラ	ベッキー「それなのに、お嬢様だけが嬉しそうな皆さんの様子を見ているだけだなんて、お嬢様が、お嬢様があんまりお可哀想すぎます」
108	ベッキー、涙があふれ　T・U 涙が溢れている　次から次と	
109	セーラ、近寄る 手をとり	セーラ「有難うベッキー、でも、もう心配しないでいいのよっ、私、お父様がいない事にはもう馴れたつもりなの」
110	ベッキー、涙を袖でぬぐい	ベッキー「そんな……お嬢様……」
111	ベッキーナメセーラ　T・U	セーラ「ベッキー、私にお父様がいなくなった事は誰のせいでもない私の運命なのよ、運命は受け入れるしかないのよ」
112	そのとき馬のいななき ！ときき耳をたてる二人	ベッキー「お嬢様」 S・E off（（馬）ヒヒ……ン）

113	別の馬車　ジェイン母子		ジェイン「アメリア先生、ごきげんよう」
114	アメリア達		アメリア「さようなら、気をつけて」
115	馬車、出て行く　113書き足し		
116	地下・食器洗場 表の様子を窺うセーラ、ベッキー		ベッキー「皆さん、帰って行かれるんですわ」 セーラ「ええ……」
117	表 馬車		生　徒「先生、さようなら」 「さようなら」
118	じっと耳をすましている二人 T・U　ベッキー、セーラを見て、悲しげに顔をそらす…… セーラの淋しげな顔 二人、扉の方を見てアッとなる		S・E（かすかに聞こえる車の音 遠ざかっていく） S・E（扉の開く音）
119	飛び込むロッティとアーメンガード　泣き出しそうな顔でセーラの方へ走るロッティ		アーメンガード「セーラ!!」 ロッティ「セーラ…! ママー!!」

カット	内容		台詞
120	走ってセーラにしがみつくロッティ 顔をうずめ、甘え、しっかりとしがみつく アーメンガード来る　セーラ見る ロッティ、急に狂ったようにセーラをたたく		←
121	泣き出しそうな顔で駄々をこねセーラをたたくロッティ		
122	じっと、たたくのをこらえているセーラ しゃがんでいくセーラ A・C		
123	激しく首を振り、いまにも泣きそうにセーラにしがみつくロッティ		←～～～

ロッティ「……セーラママ……セーラ、ママ……!!」

セーラ「ロッティー!!」

アーメンガード「あなたが急にいなくなってしまったので」

ロッティ「そうよ……! そうよ……!!

～どうして……どうして……かくれちゃうのよー!

～あたし……淋しいんだもの……!」

セーラ「……ロッティ……」

～ごめんね……でも、淋しいなんておかしいわ……お父さんとお家に帰れるんでしょ……」

ロッティ「帰っても……セーラママ……いないもん……!……いやだー、いやだ……!」

124	セーラの胸の中で駄々をこねるロッティ 困り果てるセーラ、アーメンガードを見上げる		セーラママのいないところなんて…… 帰りたくないよ……」 セーラ「……ロッティ。わがままいわないでね……」 ロッティ「いやよ…いやよ…！」
125	悲しそうな表情のアーメンガード		アーメンガード「…ね…セーラ……私だって… あなたとお別れするの……とても…… つらいの…」
126	顔をおこすロッティ C#123兼用書き足し 我が意を得たりと意気ごむロッティ		ロッティ「……皆んな同じよ…セーラママ……」 セーラ「そうね……私だって淋しいわ……」 ロッティ「…だったら、だったら…セーラママ …私の家に一緒に行こう…ね…一緒に 帰って…ね…！」
127	困り切ったセーラ、悲しそうに呟く じっと見つめるだけ…		セーラ「……ロッティ…！」
128	呟くロッティ 目に涙が浮ぶ		ロッティ「……セーラママ……」

129	やさしく、柔和な顔で		セーラ「…夏休みはすぐ終るのよ……学院にもどって来たらお家のお話しきかせて…ね」
130	見つめるロッティ、悲しげに頷く 見つめる目、泪が一条つーと、しがみつくロッティ 台詞終ると溢れる泪が流れ落ちる		ロッティ「……うん、一杯お話する……」 ロッティ「…セーラママも…多山お話しして…ね……」
131	ロッティを抱きしめるセーラ		セーラ「……ええ……楽しみに待っているわ……ロッティ」
132	セーラとロッティを見つめるベッキーとアーメンガード アーメンガードを見るセーラ セーラ、ロッティをはなして		アーメンガード「夏休みなんて…すぐ終るね…」 セーラ「そうよ……アーメンガード」 ベッキー「……またすぐ皆さん、あえますね…」 セーラ「そう、それを楽しみにね……さ…お父様達がお待ちよ…行かなくてはね…」
133	頷くロッティ…目に一杯の泪顔が笑っている		ロッティ「……うん！」

134	馬車の扉をしめる御者、前へ行 く　窓から顔を出し手を振る アーメンガード		アーメンガード「じゃ…お元気でね……セーラ」
134	手をあげるセーラ、ベッキー		
135	出ていく、先頭のアーメンガー ドの馬車 続いて後にいた馬車に出ていく ロッティが窓から身をのり出し て手を振る　父親もうしろから 手を振る　馬車 out していく 後を追うセーラとベッキー		アーメンガード「さよなら…」 セーラ　「さよなら……アーメンガード！」 ロッティ「さよなら…セーラママ…！」
136	前に出る二人 セーラ、ベッキー手を振る		
137	手を振るロッティ		
138	セーラ、ベッキー		
139	馬車　奥へ小さくなる二台の馬車 セーラにT・U F・O		

＜Aパート・おわり＞

141	ガランとした2Fの廊下　シーザーが下りてくる　奥を見ている　下へ降りてくるシーザー　BANK　B－8		シーザー「ニャーゴ」
142	1Fの廊下　BANK　A－33		
143	1Fの廊下　シーザーおりて来てあたりを見廻す　教室の扉開いている　BANK　A－14		
144	教室内で机の上を雑布で拭いているセーラ		
145	机の上を拭いているセーラ次に机（手前の）にうつり拭き始める		
146	拭くセーラ　奥でモップを使うペッキー		
147	モップで床をみがくペッキー		

148	イスを拭くセーラ 終りおき上り前の方へ行く		
149	前の方へ行き、しゃがみすすいでいるセーラ しぼっておき上るセーラ 終了したベッキー手前に来てながめ回しながら 窓の方へ寄るセーラ		ベッキー「ほんとに先刻迄に較べると嘘みたいに静かですね……」
150	淋しげな表情で外を見つめるセーラ		セーラ「ええ……なんだか……淋しくなってしまったわね」
151	モップ洗っていたベッキー、はっとなって顔を上げる		
152	淋しげに窓外を見つめるセーラ T・U		
153	窓外をみつめているセーラ ガラスにうつる樹の梢がゆれている セーラの淋しげな顔がなごむ		間 セーラ「でも……私には行くところはないんですもの……ここで頑張らなければ……」 ベッキー「お嬢様！ 淋しいだなんてこの私がおりますです」

154	ふりむくセーラ		セーラ　「ありがとう……ベッキー」
155	にっこりするベッキー		
156	シーザーが扉に現れて止り見る ギョとなり振り返るシーザー		モーリーoff「セーラ……セーラ」
157	二人も振り返る		セーラ　「はあい！」
158	セーラ、急いで出て行く　ベッキーもしゃがみ、馬穴をもって後につづく		
159	見送っていたシーザー、のっそりと入ってくる　見廻し		
160	教卓の上にとびのる		
161	大あくびをするシーザー		
162	台所　ジェームスからメモを受けとるセーラ		ジェームス「買物はそれだけだ」 セーラ　「はい、ジェームスさん……」

163		ジェームス「生徒さん達がいなくなったからその分軽くなって楽な筈だぜ」 モーリー（手前に来乍ら）「それから、明日から生徒さん達のシーツからなにから、大洗濯させるからね、棒石ケンを買ってきておくれ」
164	モーリーナメセーラ モーリー、金を渡し乍ら お金を受けとる	セーラ「はい、モーリーさん」 モーリー「いいかい、インチキな石ケンを掴まされないようよく選んで来るんだよ」 セーラ「はい……」
165	手前から急いで入っていくベッキー　振り返るセーラとベッキーを見るモーリーとジェームス	ベッキー「あのォ……私もセーラさんと一緒に参っては、いけないでしょうか」 モーリー「なんだって？」
166	ベッキー、近づいて来て	ベッキー「い、いえ、あの、セーラさん一人では、インチキを掴まされるといけないですから……」
167	モーリー、ジェームス 見廻し乍ら	モーリー「フン、なんとか云って、二人で遊びに出ようたってそうはいかないんだからね」

	ジェームス、前に出		ジェームス「ま、いいじゃねえか。今ン所仕事もねえんだ。出してやりなよ」
168			ベッキー「うわぁ！ 有難うございます！」 セーラ　「ベッキー！」
169	あきれた顔を見合すモーリーとジェームス		
170	表　使用人階段を上って来るセーラと買物篭を抱えたベッキー BANK		
171	二人　FOLLOW↗　喜びでにこにこしているベッキー		ベッキー「ほんとに、お嬢様と買物に参れるなんて、こんな嬉しいことはありませんです」
172	上って来る 二人顔を見合せて微笑する		セーラ　「私もよ、ベッキー」
173	夏の木立もれる陽がまぶしい 透過光　FOLLOW		
174	にこにこと行く二人		

No.	画面		台詞
	FOLLOW		
175	手前へ		
176	奥へ		
177	撒水車の水で遊ぶ子供たち FOLLOW		
178	撒水車の水で遊ぶ子供たち F・O		
179	水をあびる子供たち　奥で見ているセーラとベッキー　通過していく車と子供たち		
180	顔を見合てわらい合う二人		
181	奥へ行く撒水車　犬、来て水にたわむれる婦人しぶきをあびて困りはてる		
182	ベッキー見　FOLLOW		ベッキー「本当にー暑いですねえ、お嬢様」

		セーラ　「ええ」
183	手前を夏帽子をかぶった婦人と子供通る	
184	夏帽子の二人　奥へ	
185	ベッキー、うらやましそうに と、二人手前へ	ベッキー「お嬢さま、あんな夏帽子があると、いいですねえ」 セーラ（微笑）「我慢するのよベッキー」 ベッキー「はいはい、判ってますとも、お嬢さま」
186	二人、奥へ	
187	ミンチン女学院　三階廊下　アメリアの部屋から、紙包みの夏帽子を摑んだミンチン出て来る	ミンチン「アメリア！　アメリア！」
188	アメリア、クズ篭を抱え上って来る	アメリア「はい、お姉さま……」
189	ミンチン、紙包みから古びた夏	ミンチン「なんですこんなものをベッドの下に

	帽子をとり出し乍ら	押し込んだりしといて」
190	アメリア	アメリア「あ、それは捨てようと思って……」
191	ジロリと見	ミンチン「まあ、なんて勿体ない事を……」
192	アメリア	アメリア「でも昨年の流行ですし、実はもう新しい帽子を買ってしまったので……」
193	ミンチン	ミンチン「呆れた……ま、仕方ないでしょう。夏休み位、お部屋の整理をなさい！」
194	と、帽子を押しつける	アメリア「はい、お姉さま」
195	ミンチン、階段を下りていく	
196	見送ったアメリアほっと息をつき帽子を見直す	
198	荷車の傍 ピーター、セーラ、ベッキー 荷物を持った人行き交う	ピーター「へええ、夏休みですかあ……じゃお嬢さんも、これで楽が出来ますね」 セーラ「そうは行かないわ。これからみんなの部屋の大掃除があるし、洗濯物も山

			ほどあるし……」 ベッキー「そうですとも」
199	ピーター、荷車のうしろ行き交う人々 のり出し		ピーター「成程、お互に夏休みなんて、関係なしってとこかあ…… おっと、棒石ケンでしたっけね。石ケン屋なら知ってる店がありますよ。 行きましょう」
200	うなづくセーラ		(off) セーラ「有難うピーター」
201	露天市　PAN→　人が行き交う一軒の天幕店にベッキーを中にしているセーラとピーターいるのが見える		
202	鼻先きへ　匂いをかぐ　戻す 別のをとりかぐ、右手に持ち左手で別のをとり匂をかぐ、二本をコンコンと叩き合わせる		
203	ジロリと見る石ケン屋の主人		
204	主人の方を見ていたピーター、		ピーター「おおい、なにしてんだよ、ベッキー」

	ベッキーを見（＃202兼用　書き足し） セーラを見 石ケンの一本をかざしと、前へ（店の奥）		ベッキー「シッ……気をつけないと、すぐに水に溶けちまう奴を売りつけられちゃいますからね」 ピーター「えッ?!」 ベッキー「田舎のお婆ちゃんに教わったんです。大丈夫、これなら合格です」 セーラ「まあ」
205	主人に近づき乍ら――ごきげんな顔になる主人		ベッキー「これ下さい……」
206	啞然とピーターと顔を見合せくすりと笑うセーラ		
207	先程の帽子を不満げな目付で見ているアメリア　窓の外は夕方である　ちらりとミンチンの方を見る		
208	デスクで帳簿を確めているミンチン　帳簿をめくり又もどし等をして――宙を見上げて嘆息して考えこむ		

209

手にした帽子をもて遊びながら椅子に座るアメリア　うんざりとした表情で帽子を見て吐息をつく　どぎまぎしてミンチンを見る

ミンチン(off)「アメリア……」
アメリア「はいお姉様!!」

211

じろりとにらむミンチン
目をパチクリするアメリア　アメリアへの目線を脱して立ち上るミンチン　腕を組み宙を見つめ歩き出し窓の方へ

ミンチン「矢張り、学院の経費が、かかりすぎています。なんとか節約しなくては…」
アメリア「はい、新学期から、なるべく切りつめるように致しますわ」
ミンチン「それでは遅すぎます……」
アメリア「えッ?!」
ミンチン「……まず第一に……」

212

セーラとベッキー、篭を二人でもって石段を下りていく　ミンチン、入って来て二人を見つめている

ミンチン「夏休みで生徒たちがいないのにメイドが二人もいるなんて、不経済です」

213

振り返るミンチン

アメリア「でも……」
ミンチン「一人は、はぶく事が出来ます……そ

No.	画面		台詞
	唖然とした顔でミンチンを見るアメリア　フンといった表情（目付）でアメリアを見てくるりと窓の方を見るミンチン		の分食費も助る筈です」 アメリア「……お姉様!!」
	a・c		
214	にやりとして（口をゆがめる笑い）その他にまだあるんですかというように身をのり出すアメリア		ミンチン「……そして、第二に……」
215	夜　ガスランプにむらがる蛾		
216	容器をオボンにのせるモーリーの手		モーリー(off)「いいかい、～ 今日から生徒たちのお給仕をしなくてもすむんだから院長先生方のお給仕はお前たちの仕事にしたからね」
217	モーリー、ベッキー、セーラに		セーラ「はい……」
218	クロスの敷かれたテーブル　食器類がおかれている　セーラの		

	手がナイフ、フォークを置いていく		S・E（扉のひらく音）
219	二人扉の方を見て椅子をひく 手前セーラの引いた椅子に寄る アメリア　座るアメリア（奥で ミンチン、ベッキー同じように する）二人座り、セーラとベッ キー扉の方へ行こうとする 止るベッキー、セーラ、扉の方 へ out		ミンチン「ベッキー……」 ベッキー「はい……院長先生……」
220	ミンチン		ミンチン「お前には明日から、ヒマをやる事に しました」
221	ベッキー愕然　セーラも驚く		ベッキー「ええッ！」
222	ベッキー、のり出し必死な形相 で		ベッキー「そ、そんなー、お願いです院長先生 ……私をクビになさらないで下さいま し」
223	ミンチン笑い		ミンチン「ホホホ……」

224	?!となって見るセーラとベッキー、笑い止り、やさしい声で		ミンチン「馬鹿だね……お前は……」
225	やさしい柔和な顔になるミンチン		ミンチン「生徒たちと同じようにお前にも夏休みをさせてあげようと云うんです」
226	ベッキー、びっくり　セーラの方を見る		(off) ベッキー「ええッ……」
227	顔を見合せるセーラとベッキー ベッキー、又、見返す		ミンチン「但し、里帰りの間の給料は、〜 ……当然、払ってやる訳には参りませんから、そのつもりでね」
228	ミンチン		
229	返事してからうれしいような悲しい表情をするベッキー		ベッキー「はい、院長先生……」
230	ミンチン、セーラを見		ミンチン「それからセーラ」 セーラ「はい」 ミンチン「お前もどこかへやってしまいたいところだけど帰るところもないのだから止むを得ないでしょう」

No.	画面		台詞
231	セーラ		ミンチン(off)「これ迄通りこの学院に残って働くのです」 セーラ「はい、院長先生」
232	C#224兼用　顔を見合せるセーラとベッキー		
233	ミンチン、アメリア		ミンチン「判りましたね」
234	二人うなづき　ベッキー、心配そうにセーラを見る		二　人「はい、院長先生!!」
	O・L		
235	ランプが明るい		
236	窓外から――二人片づけている		
237	廊下(夜)　間　出て来るセーラ、ワゴンを押して出てくる セーラ、ふり返る アメリア出てくる　二人見る アメリア、帽子を手に手前から		セーラ「ベッキー、よかったわね、夏休みに帰れることになって」 ベッキー「お嬢様……」 アメリア「あ、ベッキー、これ、私の古い帽子

	in し　帽子を渡し乍ら		なんだけど院長先生があなたにお里帰りにかぶって帰るようにですって」
238	ベッキー、帽子を手にびっくり顔を上げ		ベッキー「えッ……この帽子を……私、頂けるんですか！」
239	アメリア		アメリア「そうよ」
240	ベッキー、微笑でみつめるセーラ		ベッキー「うわァ、有難うございます、アメリア先生……私、前々からこういう帽子が欲しくてたまらなかったんです」
241	アメリア　奥へ		アメリア「まあ、よかったわね」
242	地下　作業場　入って来るセーラ、ベッキー、ベッキー、立止り（今迄かぶっていた頭巾をとり）ベッキー、帽子をかぶり乍ら（あみだに） セーラ（微笑）直してやり乍ら（下へ）ベッキー		ベッキー「素敵ィ」 ベッキー「お嬢様、これこうやってかぶるんでしょうか」 セーラ「あ、もう少しこうよ」 ベッキー「わあ、私に似合うでしょうか」
243	セーラ、一寸さがって見		セーラ「ええ、とてもよく似合うわ」

244	ベッキー、大喜び後へ		ベッキー「やったァ！」
245	ベッキーと踊り廻る		
246	踊るベッキーを見つめるセーラ 徐々に微笑がなくなっていく		
247	はっとなって止るベッキー		
246	246のT・U		
248	ギョッとなっているベッキー はっとなり顔を上げるセーラ		ベッキー「お嬢様……」 セーラ　「どうしたのベッキー」
249	ベッキー近寄り申し訳なさそうに上目使いになる		ベッキー「お許し下さいまし、私……私ずっとお嬢様とここで夏を送る心算でいたんでございます」
250	セーラ、微笑で		セーラ　「いいのよ、ベッキー私の事は気にしないで。おうちの人だって、あなたが帰ればきっと大喜びなさる筈だわ」
251	ベッキー、セーラを見て――う		ベッキー「それはそうですけど……お嬢様を置

	つむく…… すまなそうな表情	いて私だけうちへ帰るなんて、お嬢様に申し訳けなくて……」
252	セーラつとめて明るく	セーラ「心配しないで。大丈夫、私ひとりでなんとかやれるわ、さ、それより帰りの支度をしておかなければ」
253	セーラ近寄り 帽子をベッキーからとり冠らせるセーラ　てれるベッキーと微笑するセーラ	ベッキー「はい、お嬢様」
254	夜の学院　セーラの部屋明るい	S・E　(列車の汽笛が尾を引いていく)
256	セーラ、机に向っている T・U	
257	じっと見つめていたが写真をとる	
255	ベッキーの部屋　旅行つづらをベッドの傍に置く　ベッドに腰かけ、帽子をもう一度かぶって	

	みる　うれしくてたまらない様子		
258	写真		
259	セーラ		
	O・L		
260	安らかなねむりのベッキー T・U　尻止め		
261			
262	後ろ姿		セーラ（N）「明日から、たった一人になってしまう私……。でもその淋しさを隠して私は、ベッキーの里帰りを出来る限り」
263	C＃259兼用　写真を見つめているセーラ		
263	のぞいているメル一家　チビがチョロチョロと出る　あわててメルがチビの尾を口でくわえる除々にひっこんでいく　穴にもどって手でチビを押えこむメル 一家見つめている		

264	写真を見つめるセーラ　T・U F・O

＜おわり＞